

# ハンドホイール付駆動部

これは駆動部を手動で動かす為の機構で緊急時その他任意の時に手動で弁を操作する為に付属されます。

- 例えば駆動用空気源の故障や空気漏れ、駆動部の破損（ダイヤフラム、Oリング等の破損）等で操作空気圧が得られなくなった時には、単動ダイヤフラム形駆動部、CSモータの場合は、スプリングの力で一定位置に戻り、スプリングレスの場合は位置は不定となります。この場合駆動部を手動で操作し動かす為に使用致します。
- ハンドルを時計方向に回すことによりバルブが閉まる方向にステムが動きます。  
例：バルブボデーが正栓の場合、ハンドルを時計方向に回すとステムは閉方向（下降方向）に動きます。

## ■サイドハンドル仕様

単位：mm

駆動部形番	3800形				2800形						
	N24	N28	N33S	N40	500S	500L	650S	650L	650XS	650XL	
サイズ	N24	N28	N33S	N40	500S	500L	650S	650L	650XS	650XL	
ダイヤフラム室外径φD	240	280	330	400	500		650		650		
ハンドル径φB	250	300	400		300		400		500		
ハンドル高さS	235	271	271	402	285		300		330		
高さ	DA; Hd	297	336	391	515	1113	1198	1140	1243	1722	1957
	RA; Hr	321	360	415	539	1180	1250	1380	1535	2016	2251
軸中心間距離M	63	51	59	65	100		115		204		
最大ストローク	25	38	38	65	65	100	65	130	65	130	
最大ストローク時のハンドル回転数	4.7	8.7	8.7	19	117.5	273	92.2	184.4	148	297	
概略質量(kg)	21	28	37	77	130(175)	150(175)	315(330)	320(350)	415(440)	450(485)	

注)：( )内はRAの場合の質量です。

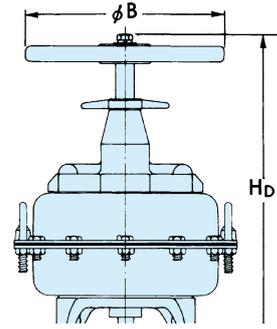
駆動部形番	3800形	2800形		
サイズ	N24 ~ N40	500 <sup>S</sup> DA	500 <sup>S</sup> RA、650 <sup>S</sup> DA、RA	650X <sup>S</sup> DA、RA

## ■ トップハンドル仕様

### ● 3800 形正作動トップハンドル

単位：mm

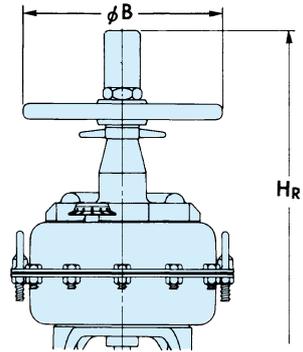
駆動部サイズ	N24	N28	N33S	N40
ハンドル径 $\phi B$	200		250	300
最大高さ $H_D$	469	535	626	795
最大ストローク	25	38	38	65
最大ストローク時のハンドル回転数	17	25	25	43
概略質量 (kg)	16	20	31	65



### ● 3800 形逆作動トップハンドル

単位：mm

駆動部サイズ	N24	N28	N33S	N40
ハンドル径 $\phi B$	250		300	400
最大高さ $H_R$	562	628	706	922
最大ストローク	25	38	38	65
最大ストローク時のハンドル回転数	8	13	13	22
概略質量(kg)	16	22	34	71



## 開度制限器付駆動部

### ■ 3800 形開度制限器付の使用区分及び高さ

単位：mm

駆動部作動区分	ステム制限方向	符号	弁開度制限方向	用途	高さ	駆動部サイズ			
						N24	N28	N33S	N40
正作動 (DA)	下方向 D	DD	閉 S	正栓の全閉制限	$H_D$	478	531	609	778
			開 O	逆栓の全開制限					
	上方向 U	DU	閉 S	逆栓の全閉制限					
			開 O	正栓の全開制限					
逆作動 (RA)	下方向 D	RD	閉 S	正栓の全閉制限	$H_R$				
	上方向 U	RU	開 O	正栓の全開制限					

弁開度を制限したい場合は右図のような開度制限器を御使用下さい。

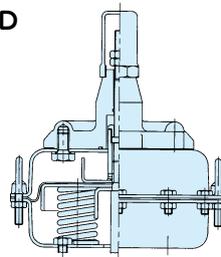
<選定例>

サイズ N24、正作動、ボデー正栓で全開制限を目的とする場合

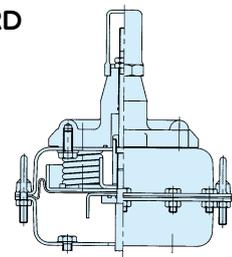
N24 -DU-O

- 弁開度制限方向 (O = 開方向、S = 閉方向)
- ステム制限方向 (U = 上方向、D = 下方向)
- 駆動部の作動区分 (D = DA 正作動、R = RA 逆作動)
- 駆動部サイズ

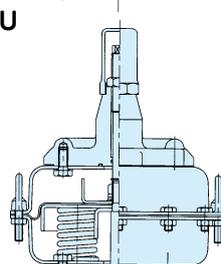
DD



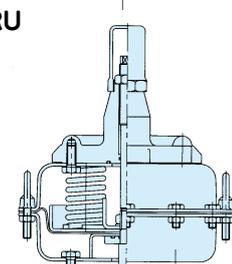
RD



DU



RU

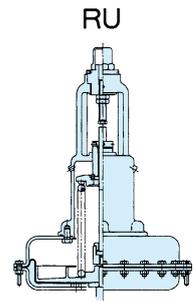
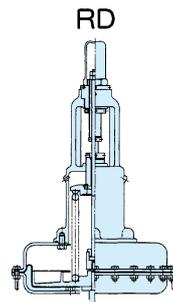
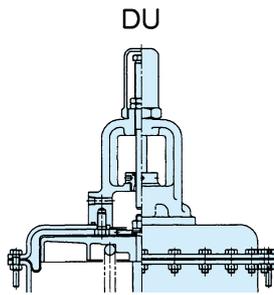
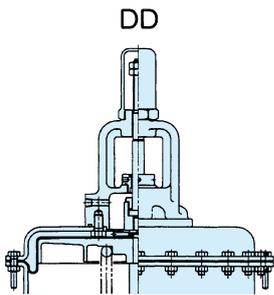


## ■ 2800 形開度制限器付の使用区分及び高さ

単位：mm

駆動部 作動区分	ステム制限方向	符号	弁開度制限方向	用途	高さ	駆動部サイズ			
						500S	500L	600S	600L
正作動 (DA)	下方向 D	DD	閉 S	正栓の全閉制限	H <sub>D</sub>	1031	1152	1443	1546
			開 O	逆栓の全開制限					
	上方向 U	DU	閉 S	逆栓の全閉制限					
			開 O	正栓の全開制限					
逆作動 (RA)	下方向 D	RD	閉 S	正栓の全閉制限	H <sub>R</sub>	1164	—	—	—
			開 O	正栓の全開制限		1095	—	—	—

注)：使用条件により開度制限器はストローク範囲が制限される場合があります。



## オイルダッシュポット付駆動部

### ■ 2800 形オイルダッシュポット付

ダイヤフラム駆動部に取付けた場合、バルブプラグに衝撃的な推力変動があっても、クッションとして働き、作動を安定させる機能を果たします。

下記の使用条件ではオイルダッシュポットの使用を御検討下さい。

単座弁の場合は

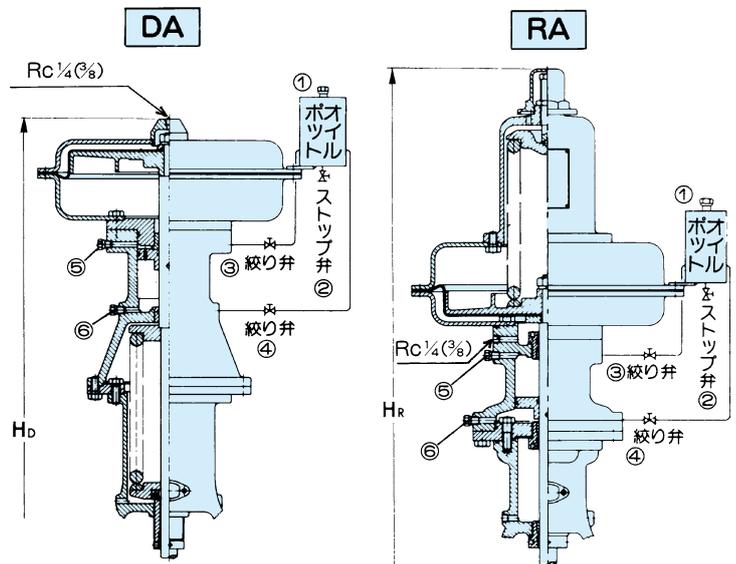
流体がバルブプラグを閉じる方向に使用する  
場合で、駆動部径を大きくしたくない場合

複座弁の場合は

- (1) 入口圧力が高く且つ差圧変動が大きい場合
- (2) 流速の速い場合

●オイルダッシュポット付寸法 単位：mm

サイズ	500S	500L	650S	650L	
高さ	DA;H <sub>D</sub>	1065	1220	1540	1645
	RA;H <sub>R</sub>	1105	1300	1560	1715



### ■ 取扱上の注意

1. 注入油は、油圧装置用の作動油、または自動車用のブレーキ油のように気体が混入しにくい油を使用します。
2. 油溜めシリンダー内部、配管中に異物が入っていないこと。
3. シリンダー及び配管内に空気が残っていないようにピストンを往復作動させながら油を注入して下さい。
4. 絞り弁を開きすぎると効果が得られませんので、適正に絞って使用して下さい。

### ■ 使用方法

1. 作動油：ダフニートルクオイル A (−40 ~ +70℃) 又は自動車用ブレーキオイル
2. オイルポット本体配管等に異物がないこと。
3. 注油方法：プラグ ① 及び弁 ③④ を全開し、プラグ ⑤ を外し、① よりオイルポットに注油し、空気圧によりピストンを上下させながら本体内に油を充填させ、残留空気がないことを確認した後プラグを閉じ、オイルポットに 90% 程度油を入れ、① を閉めます。
4. 絞り弁 ③④ を調節します。